

# 事務事業評価票

番号	枝番号	事務事業名	部名	課名	所属長名	
003		学校体育施設開放事業	教育委員会	生涯学習課スポーツ振興室	坂部武美	
基本事項	基本政策	03	ここに豊かな人が育ち、いきいきと活躍できるまち(教育・文化・スポーツ)	会計	01	一般会計
	政策	03	多彩な文化と生涯スポーツ活動の振興	款	10	教育費
	施策	02	地域スポーツ活動と交流の推進	項目	06	保健体育費
				目	01	保健体育総務費
<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度		事業開始年度	昭和53年度	完了予定年度	未定年度	<input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時

<b>事業の対象(誰に対して・何に対して)</b> 利用団体:市内に在住、在勤、在学する者5人以上で構成し、監督者として成人1人以上を含む団体(スポーツ少年団、スポーツクラブ21、市民スポーツ団体等) 利用施設(体育館・武道館は、管理指導員が施設の開閉及び使用指導等を行う。) (1)体育館:8小学校・4中学校 (2)武道館:3中学校 (3)運動場:8小学校	<b>事業の目的(どういう状態にしたいのか)</b> ・学校教育に支障のない範囲で施設を市民に開放し、スポーツ及びレクリエーションを楽しむ場所と機会を提供することにより、市民の健康及び体力づくり、生涯スポーツの振興を促進する。 ・そのために施設管理に管理指導員を配置し、業務に当たっていたが、23年度から利用者による自主管理を進める。
<b>事業の内容(目的達成のための手段・方法)</b>	
・各校1名の管理指導員を委嘱し、体育館の開閉業務を行うための連絡調整を随時行う。 ・インターネット施設予約システム(抽選予約)又は書面による利用申請の受付・許可を行う。抽選予約:学校体育施設は、インターネット施設予約システムの抽選により毎月25日に翌月の利用団体が確定する申請方法で利用予定日90日前から受付可能 ・施設使用料の徴収を行う。体育館・武道館:30分～3時間までの利用を1単位とし、利用する面数・単位数を400円・500円に乗じて計算。夜間照明設備のある運動場:30分カード(300円)・60分カード(600円)による夜間利用に対応 ・開放施設の補修整備	
<b>補助・単独</b> <input type="checkbox"/> 国・県の補助金有り <input checked="" type="checkbox"/> 市単独	
<input type="checkbox"/> 義務実施事業 <b>根拠法令要綱等</b>	
<input checked="" type="checkbox"/> 努力義務実施事業 <b>根拠法令要綱等</b> 学校教育法第2条・社会教育法第44条・スポーツ振興法第13条・教育委員会規則第33号	
<input type="checkbox"/> 任意実施事業 <b>根拠条例等</b>	
<input type="checkbox"/> 単費上乘せ有り(又はの場合) <b>根拠条例等</b>	
<b>正規職員が関与すべき法的義務性</b> <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(該当業務: )	
<b>法令名・根拠条文</b>	
<b>実施形態</b> <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担金 <input type="checkbox"/> その他( )	
委託の場合 <input type="checkbox"/> 入札 <input type="checkbox"/> 随意契約(契約先:学校体育施設管理指導員(12名))	

## 総合計画・行動計画 施策シート

	<b>優先度</b>	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	
展開方針(年度別事業内容)	平成23年度(参考)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	以降
総事業費	千円	千円	千円	千円	千円
今後の方向性		今後の方向性の具体的内容			
<input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 縮小・廃止					
進捗状況		進捗状況の具体的内容・未着手の理由		市長指示事項等	
<input type="checkbox"/> 計画どおり(以上)進行 <input type="checkbox"/> 計画よりも遅延 <input type="checkbox"/> 未着手					
企画政策課意見		行動計画掲載(企画政策課)		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C	

		単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
事務事業データ	事業費(予算額または見込額)(A)	千円	5,049	5,014	3,500	1,800	1,800
	特定財源		1,358	1,266	1,300	1,300	1,300
	一般財源		3,691	3,748	2,200	500	500
	事業費(決算額)(A)		4,426				
	特定財源		1,267				
	一般財源		3,159				
	一般職員所要人員(B)	人	0.08				
	一般人件費[平均給与×(B)](C)	千円	623				
	嘱託・臨時職員所要人員(D)	人	0.00				
	嘱託・臨時人件費[平均賃金×(D)](E)	千円	0				
総コスト[(A)+(C)+(E)](F)	千円	5,049					
受益者負担額(G)	千円	1,268					
受益者負担率[(G)/(F)](H)	%	25.1%					
活動指標	名称	延開放日数	目標値 3,100日	3,100日	3,100日	3,100日	3,100日
	実績値 3,089日						
(目標)	説明	年間開放可能日数に占める開放実績日数の割合	単価 1,635円				
	達成度 99.6%						
成果指標	名称	利用件数	目標値 5,500件	5,500件	5,500件	5,500件	5,500件
	実績値 5,169件						
(目標)	説明	体育館・運動場の年間利用件数	単価 977円				
	達成度 94.0%						
成果指標	名称	利用者数	目標値 100,000人				
	実績値 115,474人						
(目標)	説明	体育館・運動場の年間利用者数	単価 44円				
	達成度 115.5%						

評価実施：平成23年度

1次評価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性) : 5	事業の必要性 : 3	実施主体の妥当性 : 4
		直接のサービスの相手方 : 4	受益者負担の適切さ : 3	市民ニーズの把握 : 1
	総合評価	評価結果 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止	判断理由 学校教育に支障のない範囲で学校施設を地域に開放し、主として、スポーツに親しんでいただくことは、健康保持、体力の向上、親睦等に大きく貢献するものであり、また、市民の生涯スポーツの振興に必要不可欠である。 施設を開放するに当たっては、管理指導員を配置し、業務に当たっていたが、23年度から利用者による自主管理を進める。	改善策 体育館の開閉業務を校区毎のスポーツ振興団体であるスポーツクラブ21や常時利用グループ等での自主管理を進める。 スポーツ少年団は、日曜・祝日の開放を望んでおり、現在、原則開放していない日曜・祝日の体育館・武道館の開放についても検討可。

2次評価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性) : 3	事業の必要性 : 2	実施主体の妥当性 : 3
		直接のサービスの相手方 : 1	受益者負担の適切さ : 3	市民ニーズの把握 : 1
	総合評価	評価結果 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止	判断理由 健康増進やスポーツの振興のために施設を提供することは必要な事業である。 鍵の管理のために管理指導員が必要であったが、23年度からは利用者の自主管理を進めている。	改善策 23年度から実施している自主管理の手法を全ての施設で実施できるように進めてもらいたい。 自主管理を進めるにあたり、利用者への周知を徹底し適切に施設が使用されるよう努められた。

3次評価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性) :	事業の必要性 :	実施主体の妥当性 :
		直接のサービスの相手方 :	受益者負担の適切さ :	市民ニーズの把握 :
	総合評価	評価結果 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止	判断理由 	改善策 